

内丸病院 飛躍する一年に



内丸病院の看護部長

中央が看護部長

奥州市から通勤して4年目になる私にとって、毎朝、高速度路から岩手山を見ることが元気の源になっています。春夏秋冬、岩手山はいろいろな表情を見せてくれます。特に冬の景色は格別です。

さて、当院において昨年は宮川院長の就任、法人名の変更、介護療養病棟から医療療養病棟へ、そしてコロナといろいろな対応に追われる一年でした。

しかし12月にコロナワクチンを行った北日本カレッジから、職員全員に素敵なお弁当とお菓子をいただき、本当にいい年となりました。

また、この報道によって受診してくださる患者さんたちから「見たよ!」「すごいお弁当だったね!」「若い人も映ってたね。」などと声をかけていただき、最高のプレゼントとなりました。

令和4年、職員一丸となって躍進する年となるよう、さっそく内丸病院では職員の写真コンテスト、新年ボーリング大会、スキー交流会と行事が目白押しです。どうかオミクロン株でこれらが中止となることなく、幸先良いスタートとなりますように!

看護部長 新川

あけましておめでとーございませう
今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます

めでたか通信



地域連携だより

Vol.5

2022.1.10

発行：医療法人

青樹会 内丸病院

☎019 (654) 5331

〒020-0015

盛岡市本町通一丁目

12-7

発行所：地域連携室

今月の季語



一月は睦月。「むつき」と読み、その語源にはいくつもあり、もっとも有力な説は睦月（むすびつき）が「睦月」に転じたというもの。▼睦月とは、仲良し（むす）と、仲睦まじいこと・互いに親しみ合うなどの意味を持つ「睦むい」。お正月に家族や親族が集まる宴を行うことが由来。

▼ほかに「始まる・元になる月」である「元月（もとつき）」が転じて「むつき」となった説も…。▼昨年からの引き続き、今年も実家に帰省できない「むすびつき」ができない正月となった方々も。▼油断ならないコロナ「オミクロン」が未だに世界に居座る現実。▼神社での祈願で一日も早いコロナの収束を願った人も多いはず。▼集まれない「むすびつき」だけは忘れないよう。これまで幾つもの危機を乗り越えてきたのだから。▼内丸病院も患者さん・家族の方々、そして地域のみなさまとの「むすびつき」を大事にする一年としていきます。▼今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

(ま)

可愛いコックさんからの うれし〜い贈り物

昨年12月7日及び9日の両日、北日本ハイテクニカルクッキングカレッジの生徒さん方が作成したお弁当とお菓子の授与式が行われました。

これは、昨年9月〜11月に当院で行った北日本カレッジの新型コロナウイルスワクチンの職域接種が無事完了したことに伴い、謝礼として作成したお弁当等の贈呈をいただいたものです。

この度は2日間で100食の手作りお弁当で、

画像のようにとっても素敵なお弁当でした。

なんと14種類もの料理が入り、どれから食べたらいいかわからないくらい。お菓子も焼き菓子とマシュマロなど数種類。食べた職員は、みんなニコニコで辛い仕事を忘れ、本当に幸せな一時をいただきました。

一足早いクリスマスのプレゼントとして、みんなの楽しい思い出となりました。

本当にありがとうございました。



代表して宮川院長と新川看護部長がお弁当を授受（上）



14種類の料理が入った豪華なお弁当。（左）



北日本ハイテクニカルクッキングカレッジの生徒さん方の可愛いサンタさんのようでした。（右）



新年・真冬でもメダカたちは元気です

雪が降る前に玄関内へ睡蓮鉢を移動させました。メダカは寒さに強い魚で、水面が凍りついても水底でじっとして冬眠してしまうのですが、内丸病院のメダカ達は、真冬なのに元気に活動しています。

というのも、実は来院された皆様に楽しんでいただくために、水槽用ヒーターを使用しているのです。寒い外からいらした皆様に少しでもほっこりしていただければ幸いです。

おむすびおむすびおむすびおむすび

日頃からお世話になっております、地域の皆さま、関係機関の皆さま、今年もよろしくお願ひします。

雪が積もる日が続き、寒さを一層感じる季節になりました。

当院ではレスパイト入院（一〜二週間程度）を随時受け付けております。冬場自宅で生活するのが不安な方、日頃介護を行っているご家族様の休息目的等、様々なニーズに対応させていただきます。

詳しくは地域連携室（代表：019-654-5331）にお問ひ合わせ願ひします。地域連携室



レスパイト入院の申込み関係書類です